

大草谷津田いきものの里 自然観察会

アカガエルの卵はあるかな？

川北紀子（千葉市）

日 時：2019年2月17日(日)10時30分～12時 天候：晴れ

参加者：35名（大人21名 子ども14名）

担当指導員：遠藤登志子・川北紀子

一月は雨がとても少なく、ニホンアカガエルの産卵が心配でしたが、今年も大草ではたくさんの卵塊を見ることができました。観察会当日も寒い一日ではありましたが、大勢の方々が参加してくださいました。

「大草谷津田いきものの里」についての説明や注意事項を話したのち、全員で田んぼへ向かいました。安全確保のため、参加者たちは田んぼへは降りませんでしたが指導員で参加してくれた方が長い長靴で田んぼに降り立ち、膝上までつかる深さの田んぼでは歩くのも大変なことを実証してくれました。見ていた子どもたちはとても驚いていました。事前に採取しておいたニホンアカガエルの卵塊を子どもたちは夢中になって観察してくれました。大草には他にもアズマヒキガエル・シュレーゲルアオガエル・ニホンアマガエルがいることを伝え、様々なカエルの生活の仕方などを説明しました。ニホンアカガエルはコンクリート制の水路で囲まれた田んぼではなく、大草のような谷津田でこそ生きていけるのだということを参加者たちは実感したようです。谷津田の自然豊かな環境こそ、様々な生き物にとっては大切だということを理解してくれたのではないのでしょうか。

観察会の最中に、飛んできたダイサギがニホンアカガエルの卵塊をくわえて飛び去って行く姿を目撃することができました。子どもたちが自然の摂理に間近に触れて、深く感激していたのがとっても印象的でした。



観察用に事前に採取しておいたニホンアカガエルの卵塊を興味深げに観察



谷津田の自然に関する説明を熱心に聞く参加者たち